

第 17 回岩手県障がい者技能競技大会

ビルクリーニング競技課題

◎一般的な注意事項

- 1.課題 1 のカーペット床清掃終了後、課題 2 の弾性床の課題に入ります。
- 2.両課題とも、時間が定められています。
課題 1： 7 分（10 分で打ち切り）
課題 2： 12 分（15 分で打ち切り）
- 3.使用する資機材は、支給されたもの以外は使用できません。
- 4.競技採点は、作業準備、作業動作（手順）、仕様誤り、作業態度、作業時間の 5 面から審査します。
- 5.作業に適した服装をしてください
- 6.作業開始の指示は審査員が行います。
- 7.作業ごとに入退室を行う際には軽く挨拶や礼をしてください。
- 8.「始めます」「終わりました」の申告と、入退室の際の「失礼します」「失礼しました」以外は、競技中に声を出さないでください。

1 課題

(1) 課題 1 カーペット床清掃

最近多くのオフィスビルで採用されているカーペット床材事務所（16m²）を想定し、指定時間内に挨拶を含むカーペット床面の除塵作業（床面のバキューミング作業）を行う。

(2) 課題 2 弾性床清掃及び机上清掃

ビル内の弾性床材事務所（16m²）を想定し、指定時間内に挨拶を含む以下のビルクリーニングに係る基本作業を行う。

- ①床面の掃き作業
- ②床面の拭き作業
- ③コート内ゴミ箱のゴミ処理
- ④机の上の拭き作業

2 実施内容及び実施手順

(1) 課題 1 カーペット床清掃

作業準備 → 挨拶 → 真空掃除機による除塵作業 → 挨拶 → 終了

(2) 課題 2 弾性床清掃及び机上清掃

作業準備 → 挨拶 → ゴミ処理 → 椅子・ゴミ箱を机の上に置く → ダストモップによる除塵 → 自在箒によるゴミ回収 → モップによる拭き作業 → 椅子・ゴミ箱を元の位置に置く → タオルによる机上拭き作業 → 挨拶 → 終了

3 使用機器等一覧表

(1) 競技場に準備されているもの

1) 課題 1

品名	寸法又は規格	数量	備考
真空掃除機	ポット型 リンレイ RD エコ 2 型	1 台	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	

2) 課題 2

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業用カート	ビルクレーン技能検定資機材に準拠	1 台	
作業標示板		1 個	
ワンタッチモップ柄	ワンタッチアルミ伸縮柄	1 本	
ラーグ (モップ房)	260 g 白色	1 枚	
小型ぼうき	30 c m幅用	1 本	
乾式モップヘッド	63 c m	1 枚	
文化ちり取り	ビルクレーン技能検定資機材に準拠	1 個	
タオル	・無地 水拭き用 (青色) 1 枚 ・から拭き用 (白色) 1 枚	2 枚	
ダスタークロス	69 c m幅の不織布	1 枚	
ビニール袋	ゴミ箱用替袋	1 枚	
イス	パイプ式折りたたみ	1 脚	

(2) 競技者が持参するもの

品名	寸法又は規格	数量	備考
作業着 (上・下)		1 着	
作業帽又は三角巾		1 個	
作業靴		1 足	

課題1 カーペット床清掃

作業仕様 競技時間：7分（10分打切り）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備する	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 （必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと） ホースにウォンド・吸い込み口をセットする。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申しでる。	資機材の点検終了後、審査員の指示に従い作業準備に入る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い競技を開始。	片手を挙げ礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	真空掃除機を保管場所から作業場所の近くへ移動し、コードをはずしプラグをコンセントに差し込み、始動点検を行う。	吸い込み口に手を当て、風量があるか点検する。	
入室の挨拶	入口にて室内に向かって、入室の挨拶を行う。	「失礼します」等一礼、挨拶し入室する。	
除塵作業 （真空掃除機）	①真空掃除機を使用し、外から入口を吸塵し、作業場所へ入る。 ②入口より奥に向かって右幅木側・中央部・机の下へと順に作業を行う。 ③ゴミ箱を移動して吸塵する。 ④イスを手前に引き出し、机の下の吸塵を行い、元に戻す。 ⑤前進しながら吸塵作業を行う。 ⑥ゴミの取り残しがないか点検する。 ⑦作業が終了したら掃除機を室内より出してプラグを抜く。	・ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 ・吸い込み口を床に強く打ちつけないこと。 ・本体は手で持って移動する。 ・プラグを持って抜く。	ゴミはシュレッターで裁断したものを50m1程度撒いている。
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り残しがないか点検を行う。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました。」等、一礼し挨拶を行う。	
資機材の片付け	掃除機のコードを巻き、掃除機を所定の場所の位置に戻す。	・プラグを持って抜く。 ・元の位置に戻す。	
終了挨拶	所定の位置に立ち終了挨拶を行う。	「終わりました。」「終了しました。」等の意思表示を行う。	作業終了を申告する。

課題 2 弾性床清掃及び机上清掃

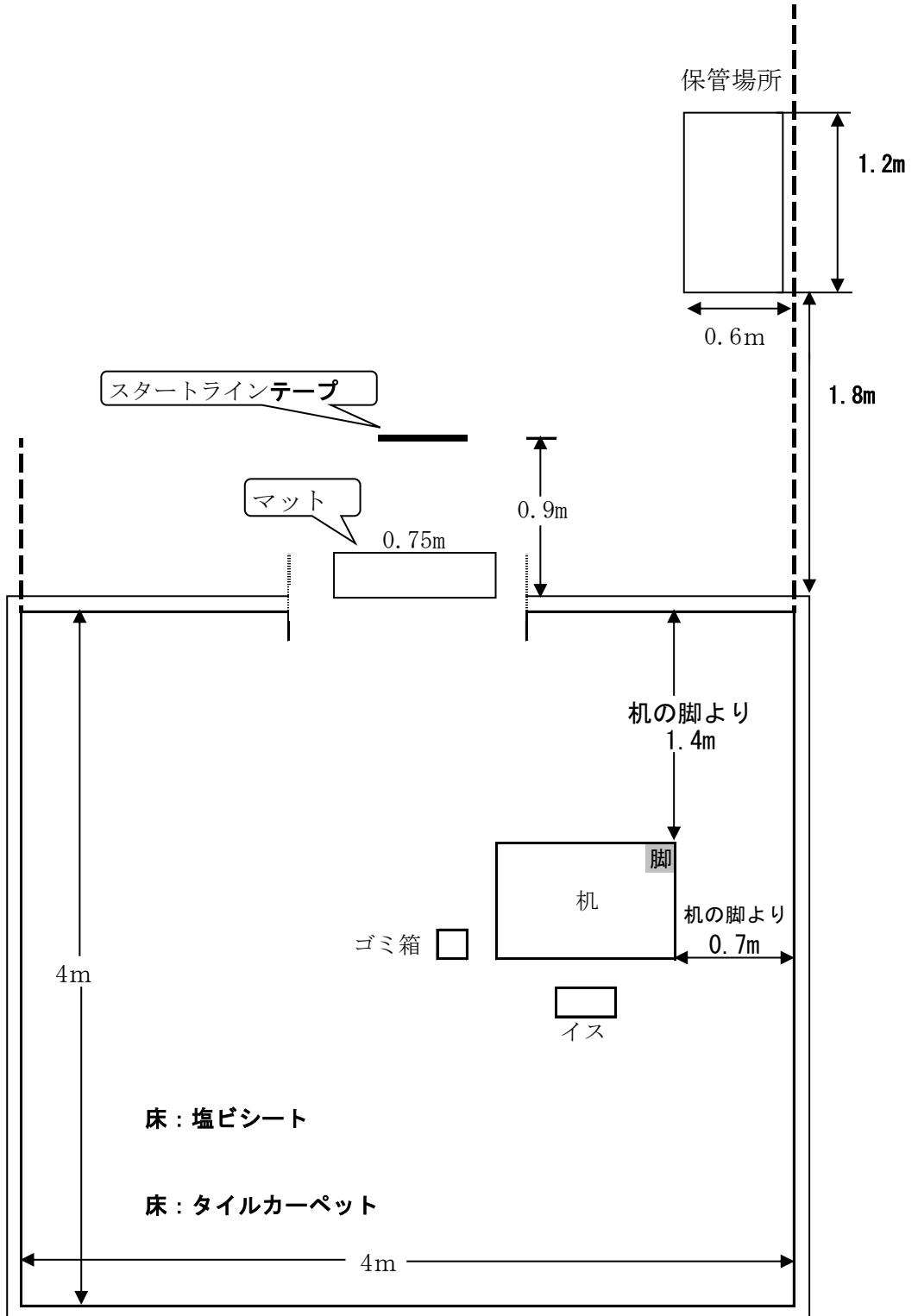
作業仕様 1-1 競技時間：12分（15分打切り）

作業工程	作業方法	補足事項	備考
資機材を準備する	作業に必要な資機材はすでに会場に準備されている。 （必要な資機材及び数量は資機材一覧表を参照のこと） ①モップ柄の長さを調整する。 ②ダスタークロスをヘッドに装着する。	資機材が過不足なく準備されているか点検し、異常があれば申しでる。	資機材の点検終了後、審査員の指示に従い作業準備に入る。
競技開始の挨拶	所定の位置に立ち、「はじめます」と挨拶を行い競技を開始。	片手を挙げ礼をする。	作業開始を申告する。
作業準備	作業カートを保管場所から作業場所の近くへ移動し、作業表示板を立てる。		
入室の挨拶	入口にて室内に向かって、入室の挨拶を行う。	「失礼します」等一礼、挨拶し入室する。	
ゴミ処理とイス上げ	①作業前にイスを机の上にあげる。 ②ゴミ箱内のゴミを袋ごと処理する。 ③ゴミ袋を出口に置いてあるカートゴミ袋に入れる。 ④ゴミ袋のスペア袋を取り出し、ゴミ箱にセットする。 ⑤ゴミ箱を机の上にあげる。	<ul style="list-style-type: none"> ・机は動かさない。 ・イスとゴミ箱は机からはみ出さないように正しく乗せる。 ・ビニール袋を正しくセットする。 	
除塵作業 （掃き作業）	①乾式モップを持ち、外から入口を除塵し、作業場所へ入る。 ②入口より奥に向かって右幅木側・幅木側・机の下・中央部へと順に作業を行う。 ③前進しながら出口に向かってゴミを一か所に集める。 ④ヘッドをワンタッチモップ柄から外す。 ⑤使用済みのダスタークロスをヘッドから外す。 ⑥柄とヘッドをカートに戻す。 ⑦小ぼうきと文化ちりとりを持って集めたゴミを取る。 ⑧ゴミの取り残りがいないか点検する。 ⑨小ぼうきと文化ちりとりをカートに収める。	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミを踏まないように広めに足場を確保する。 ・ヘッドを床に強く打ちつけないこと。 ・使用済みクロスはカートの袋の中に入れる。 ・ゴミの取り残しがあれば、小ぼうきと文化ちりとりで取る。 ・ヘッドはカートの上部へ邪魔にならないように置く。 ・ヘッドはスポンジ面を上にして置く。 	ゴミはおがくずを50m1程度均等に撒いている。

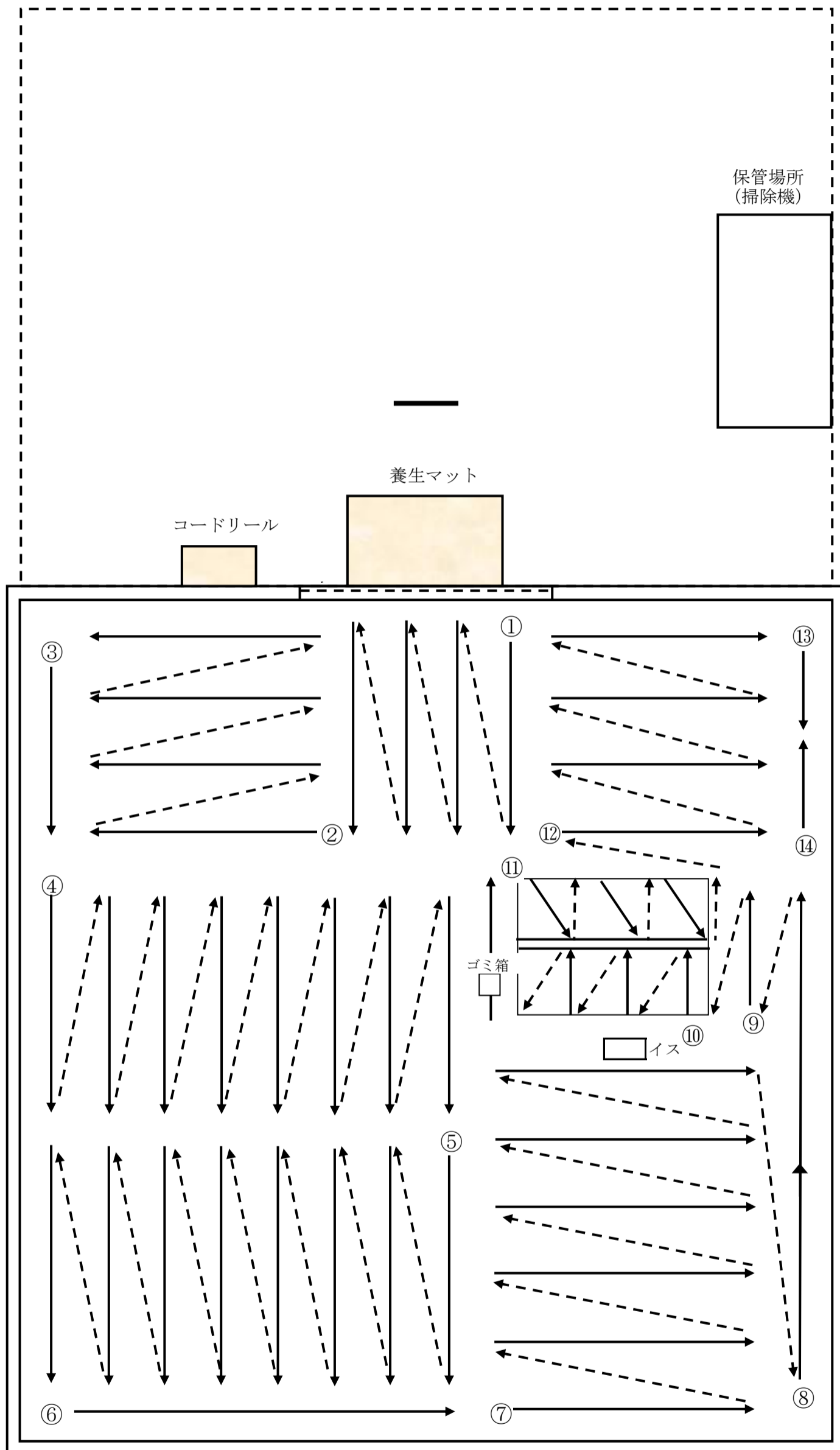
作業仕様 1-2

作業工程	作業方法	補足事項	備考
水拭きをする (モップ)	①コート全体面積を拭く。 ②幅木側、机の下、中央部の順に拭く。 ③コーナー周りとお机の足元は房糸に手を添えて拭く。 ④モップは時々裏返し、モップ全体を使って拭く。 ⑤モップは横拭きとし、後退しながら拭く。	・拭き残し、拭きむらのないようにする。 ・横拭きは柄の先端に親指を添えるのを基本とする。 ・幅木、机の脚部に触れないようにする。 ・拭いたところを踏まないようにする。	
ゴミ箱とイスを下す	安全に音を立てないように下す。	足の上に落とさないように注意する。	
机上拭き	①タオルを八折りにして持つ。 ②机の上を水拭きした後、乾拭きを行う。	・タオルが汚れたら綺麗な面を出して拭く。 ・四隅から中央へ行う。 ・縦拭き・横拭きを行う。	
点検	指差し又は目視点検を行う。	資機材の忘れ、ゴミの取り忘れなどの点検を行う。	
退室の挨拶	出口にて室内に向かって退室の挨拶を行う。	「失礼しました」等、一礼し挨拶を行う。	
資機材の片付け	作業標示板を作業カートに戻し、作業カートを保管場所に戻す。	元の位置に戻す。	
終了挨拶	所定の位置に立ち、終了の挨拶を行う。	「終わりました。」「終了しました。」等の意思表示をする。	作業終了を申告する。

標準配置図(モデル)



カーペット床作業手順



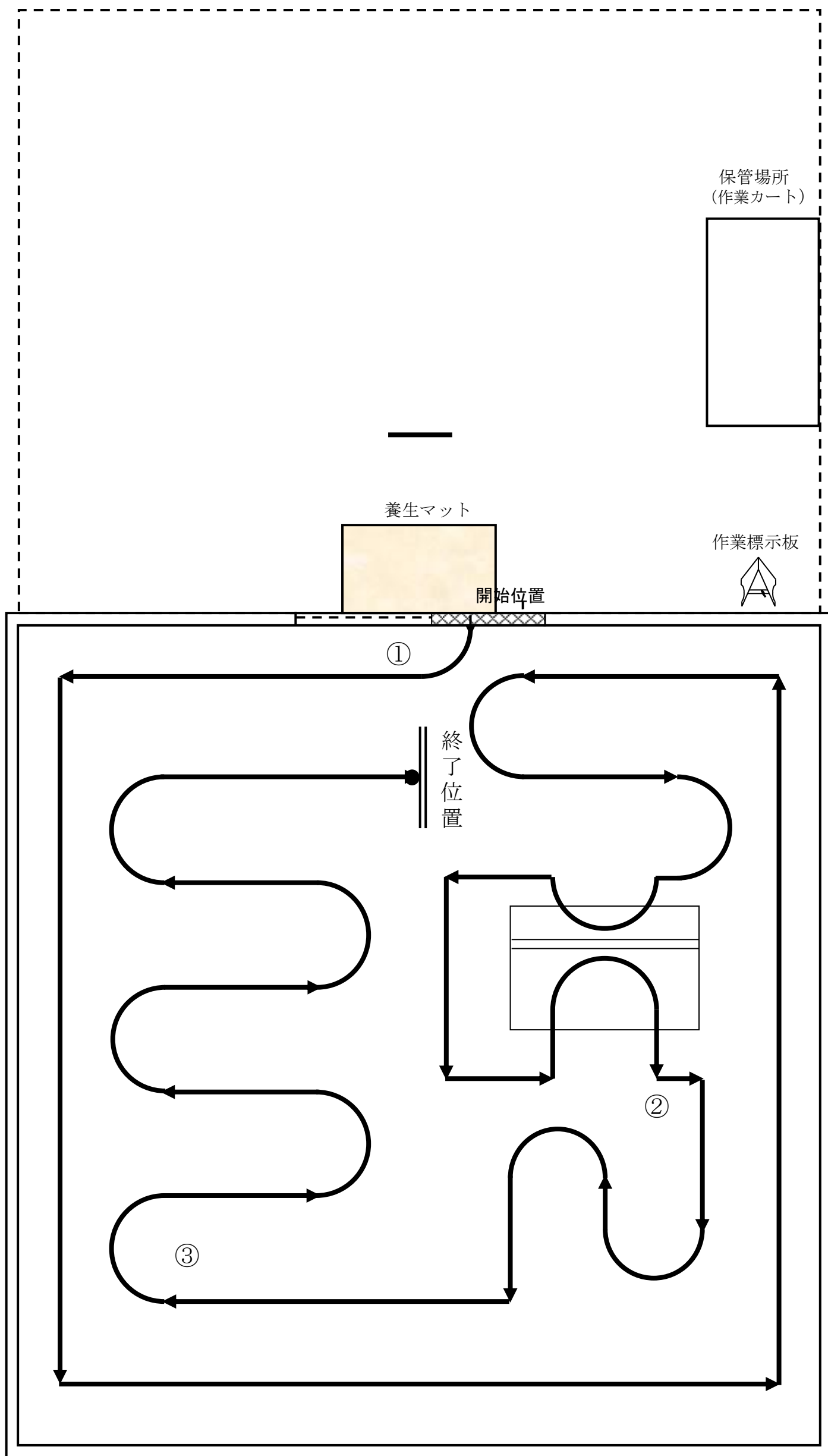
注：作業の進行①-⑭

吸引回数を入れたものではありません。

①の作業を一回の行程でできない場合は、真ん中で二度に分けても構いません。

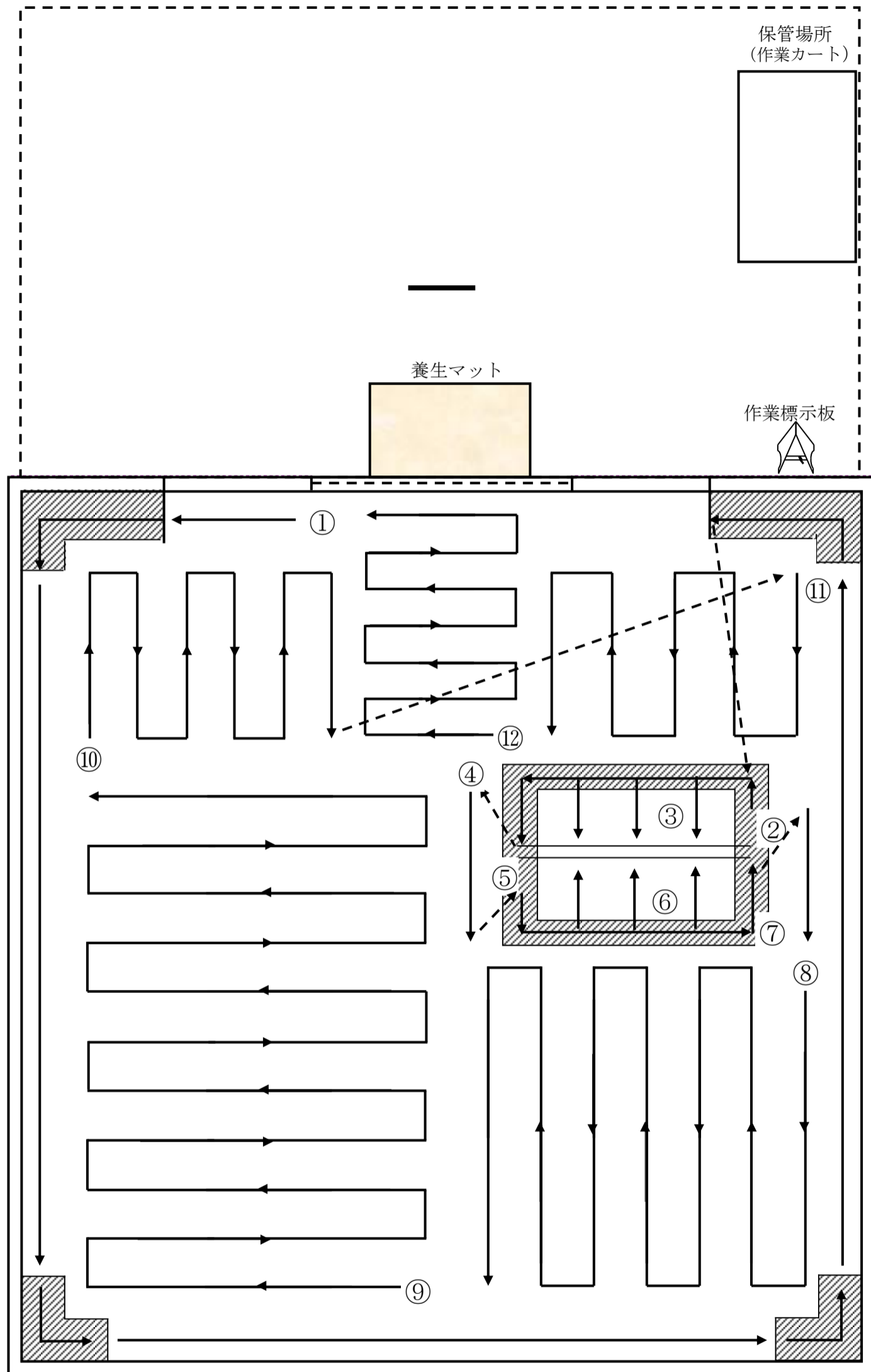
ゴミ箱の下を作業する際は、ゴミ箱を移動し、確実に吸引する。


乾式モップ作業手順



注：乾式モップのヘッドの振る回数ではありません

水拭きモップ作業手順



注：  印は手を添える箇所を示す。

水拭き回数を入れたものではありません。

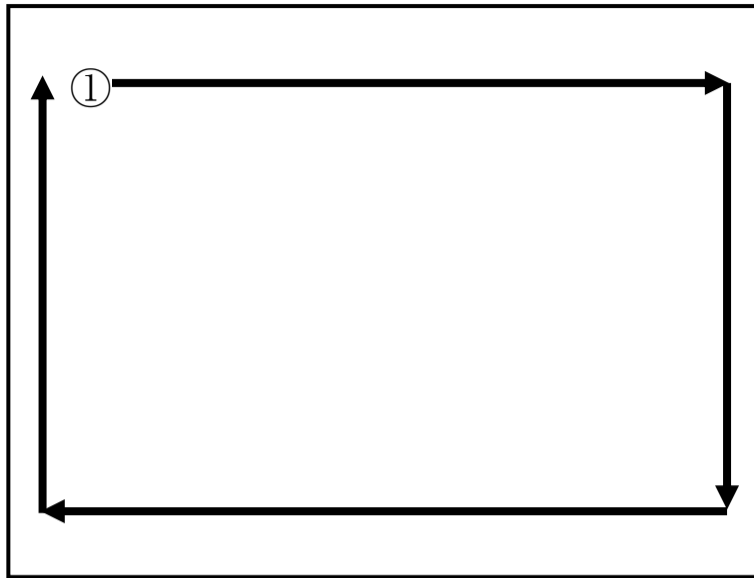
①巾木側を1週すること。（コーナーは手を添えます）

②～③机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

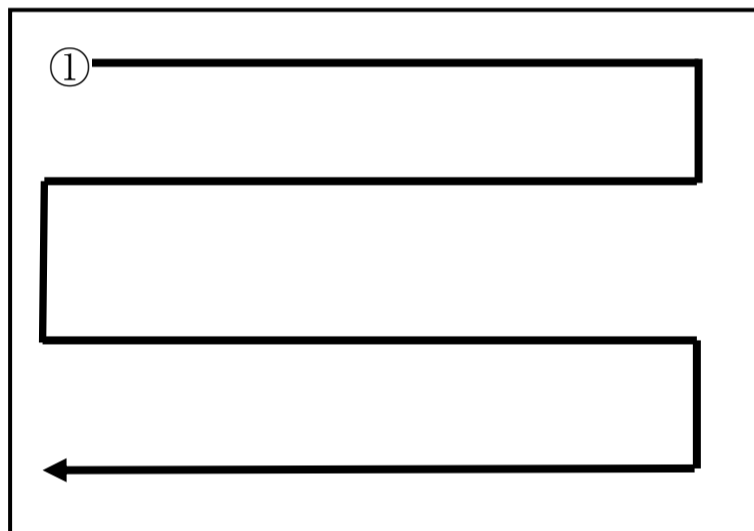
⑤～⑥反対側の机の足回りを拭き、机の下を拭く。（足回りについては手を添えて）

⑧～⑩スパンを決めて拭き上げる。

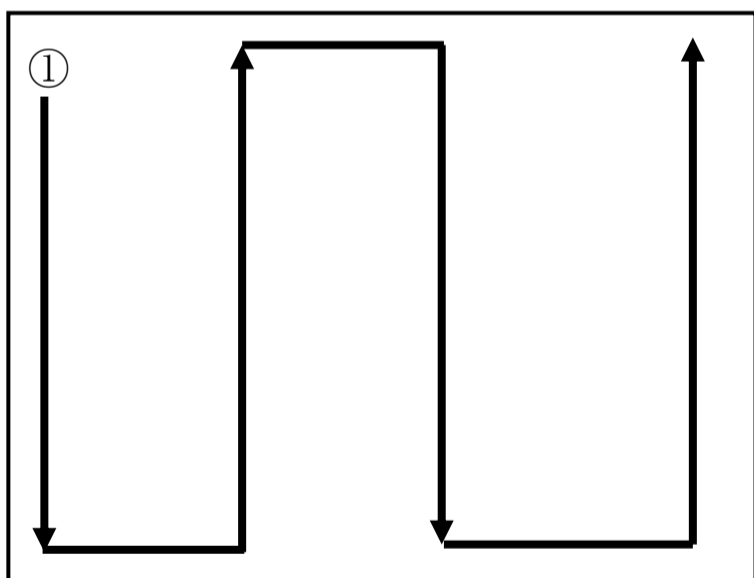
机上拭き作業手順



①四角く、縁にそって拭きます。
(その際、テーブル、机の縁も拭きます。)



②横拭き：拭いていない中面を左右に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、左右の動きにより、往復の回数が異なります。)



③縦拭き：拭き残しがないように中面を上下に拭きます。
(このとき、拭きムラの無いように注意します。また、上下の動きにより往復回数は、異なります。)

④から拭きも同じように行います。

注：作業手順は右手でタオルを持つ人の例になります。左手で持つ人の場合は、左右を逆として構いません。